

2 大豆

(1) 国際的な大豆需給の概要

○2009/10年度の大豆需給（予測）のポイント

大豆の供給面では、米国においては作付面積が過去最高を記録し、前年度低下した単収の回復が見込まれる。また南米では天候が平年並に推移すれば単収が回復する見込みであり、世界の生産量は増加が見込まれている。需要面では、ブラジル等でやや減少するものの、引き続き中国等で搾油用需要を中心に拡大することから、世界の消費量は増加が見込まれている。期末在庫量については、生産量が消費量を上回ることから、期末在庫率は前年度を上回ると見込まれる。

【生産量】

生産量は、中国で減少するものの、世界第1位の生産・輸出国である米国や南米のアルゼンチン、ブラジル、パラグアイで増加することから、世界全体では前年度より33.1百万トン増加（15.7%）し、243.7百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で2.1百万トン上方修正されており、国別には米国、カナダが上方修正された。

【消費量】

消費量は、搾油用需要を中心にブラジルでやや減少するものの、アルゼンチン、中国等で増加が見込まれることから、世界全体では前年度より9.9百万トン増加（4.5%）し、231.9百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.4百万トン上方修正されており、国別には米国が上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より2.1百万トン増加（2.8%）し、75.9百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではアルゼンチン、パラグアイ等で輸出品の増加が見込まれている。一方、輸入国では、貿易量の約5割を輸入する中国の輸入量が減少するものの、その他のアジア諸国を中心に輸入量の増加が見込まれる。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン上方修正されており、国別には米国、カナダの輸出品が上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから世界全体では前年度より10.8百万トン増加（26.3%）し、51.8百万トンとなり、期末在庫率は22.3%（3.9ポイント増）と前年度を上回る見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.8百万トン上方修正されており、国別にはアルゼンチン、ブラジルで下方修正され、米国、中国で上方修正された。

表－1 世界の大豆需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	221.2	210.6	243.7	2.1	15.7
米国	72.9	80.5	88.7	1.8	10.2
ブラジル	61.0	57.0	60.0	-	5.3
アルゼンチン	46.2	32.0	51.0	-	59.4
中国	14.0	16.0	15.6	-	▲ 2.5
インド	9.5	9.1	10.0	-	9.9
パラグアイ	6.9	3.8	5.8	-	51.3
カナダ	2.7	3.3	3.7	0.3	10.6
消 費 量	229.7	222.0	231.9	0.4	4.5
うち搾油用	201.9	192.8	201.3	0.3	4.4
中国	49.8	51.3	53.5	-	4.1
米国	51.6	49.3	50.5	0.2	2.5
アルゼンチン	36.2	34.2	36.7	-	7.5
ブラジル	35.1	34.8	34.6	-	▲ 0.4
EU-27	16.1	13.7	13.7	-	0.0
インド	9.4	9.1	10.0	-	10.4
日本	4.2	3.9	4.1	-	6.8
貿 易 量 (輸出)	79.6	73.8	75.9	0.5	2.8
米国	31.6	34.3	34.7	0.4	1.2
ブラジル	25.4	27.5	24.0	-	▲ 12.7
アルゼンチン	13.8	6.0	9.4	-	57.6
パラグアイ	5.4	2.3	4.0	-	72.6
カナダ	1.8	1.9	2.0	0.1	4.0
(輸入)					
中国	37.8	39.1	38.1	-	▲ 2.6
EU-27	15.1	12.8	12.9	-	0.8
日本	4.0	3.5	4.0	-	14.5
メキシコ	3.6	3.1	3.5	-	12.6
台湾	2.1	1.8	2.3	-	23.0
タイ	1.8	1.5	1.7	-	13.7
インドネシア	1.1	1.2	1.6	-	33.3
期末在庫量	52.9	41.0	51.8	0.8	26.3
アルゼンチン	21.8	15.2	20.6	▲ 0.3	35.3
ブラジル	18.9	13.7	15.2	▲ 0.3	11.1
中国	4.2	7.5	7.3	0.2	▲ 3.3
米国	5.6	3.0	6.8	1.1	127.6
EU-27	0.8	0.5	0.4	-	▲ 11.8
期末在庫率	23.0%	18.5%	22.3%	0.3	3.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」

(2) 大豆の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、需給のひっ迫見込みから農家の作付け意欲が増加し、作付面積が過去最高を記録した。また、天候が良好に推移したことから、前年度低下した単収の回復が見込まれ、前年度より8.2百万トン増加（10.2%）し、88.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、畜産向けの需要の回復による大豆粕需要の若干の増加や、搾油用需要の増加が見込まれることから、前年度より1.2百万トン増加（2.5%）し、50.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の増加により0.4百万トン増加（1.2%）し、34.7百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、3.8百万トン増加（127.9%）し、6.8百万トンとなり、期末在庫率は8.0%（4.4ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、面積の増加で生産量が1.8百万トン、消費量が0.2百万トン、輸出量が0.4百万トン上方修正され、輸入量が0.1百万トン下方修正された。この結果、期末在庫量が1.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

大豆の主要18州の作付けは、雨がちな天候の影響でコーンベルト東側の主産地であるイリノイ州等で作付けが遅れたものの、7月初めにほぼ終了した。現在、開花期に入り、7月は天候にも恵まれて生育は良好に推移しており、開花率は44%で、前年度より1ポイント上回っているものの、過去5年の平均に比べ18ポイント進捗が遅れている。

8月は着さや期であり、大豆の単収に最も影響を与えることから、今後の天候に注視が必要。

作柄については、優良～良までの合計は67%と、前年度同時期の61%や前年度最終の57%を共に上回っている。

我が国の輸入先国シェア 1位（2008年数量ベース73.5%）
世界の生産量シェア 1位（2009/10年度 36.4%）
輸出量シェア 1位（2009/10年度 45.7%）

表－2 米国の大豆需給（市場年度：9月～翌年8月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	72.9	80.5	88.7	1.8	10.2
消費量	51.6	49.3	50.5	0.2	2.5
うち搾油用	49.1	45.0	45.7	0.1	1.5
輸 出 量	31.6	34.3	34.7	0.4	1.2
輸 入 量	0.3	0.4	0.3	▲ 0.1	▲ 34.1
期末在庫量	5.6	3.0	6.8	1.1	127.9
期末在庫率	6.7%	3.6%	8.0%	1.2	4.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	25.96	30.21	30.98	0.63	2.5
単収(t/ha)	2.81	2.67	2.86	-	7.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」

○ 米国大豆の生育進捗状況（7月19日現在）

[生育進捗状況(2009/10年度大豆)]

開花率 44%（平年差：▲18p、前年差：1p）

[作柄]

		単位：%				
		優良	良	普通	不良	極不良
大豆	2009/10	14	53	25	6	2
	前年度同時期	12	49	28	8	3
	前年度最終	12	45	29	10	4

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

イ ブラジル

【需給状況】

ブラジルの生産量は、高水準な国際価格や肥料価格下落の影響を受け、収穫面積の増加が見込まれることから、前年度より3.0百万トン増加（5.3%）し、60.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用の減少に伴い前年度より0.2百万トン減少（▲0.4%）し、34.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、アルゼンチンの輸出量の増加に伴い前年度より3.5百万トン減少（▲12.7%）し、24.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、1.5百万トン増加（11.1%）し、15.2百万トンとなり期末在庫率も25.9%（4.0ポイント増）と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2008/09年度の輸出量が0.3百万トン上方修正された。この結果、2009/10年度の期首在庫量が下方修正され、期末在庫量が0.3百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のブラジルの大豆は、5月下旬頃までに概ね収穫が終了した。

ウ カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、前年度に上昇した単収が低下するものの、主産地である東部のオンタリオ州とケベック州で収穫面積が増加する見込みであることから、前年度より0.4百万トン増加（10.6%）し、3.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用を中心に増加することから、前年度より0.3百万トン増加（12.4%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

輸出量は、供給量の増加により前年度より0.1百万トン増加（4.0%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.1百万トン増加（57.1%）し、0.3百万トンとなり、期末在庫率は7.1%（2.2ポイント増）となる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、収穫面積の増加で生産量が0.3百万トン、消費量が0.1百万トン、輸出量が0.1百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量が0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

カナダの大豆は現在、開花期に入っている。一部の地域では低温が続いたことで生育が遅れが生じており、今後の天候に注視が必要。

我が国の輸入先国シェア 2位（2008年数量ベース 15.3%）
世界の生産量シェア 2位（2009/10年度 24.6%）
輸出量シェア 2位（2009/10年度 31.6%）

表－3 ブラジルの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	61.0	57.0	60.0 (61.6)	-	5.3
消費量	35.1	34.8	34.6 (…)	-	▲0.4
うち搾油用	32.1	31.8	31.6 (…)	-	▲0.6
輸出量	25.4	27.5	24.0 (…)	-	▲12.7
輸入量	0.2	0.1	0.2 (…)	-	200.0
期末在庫量	18.9	13.7	15.2 (21.8)	▲0.3	11.1
期末在庫率	31.3%	22.0%	25.9% (…)	▲0.4	4.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	21.30	21.60	22.00 (22.15)	-	1.9
単収(t/ha)	2.86	2.64	2.73 (2.78)	-	3.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 17, 2009)」

我が国の輸入先国シェア 3位（2008年数量ベース 8.8%）
世界の生産量シェア 7位（2009/10年度 1.5%）
輸出量シェア 5位（2009/10年度 2.6%）

表－4 カナダの大豆需給（市場年度：8月～翌年7月）

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	2.7	3.3	3.7 (3.6)	0.3	10.6
消費量	1.8	1.7	2.0 (1.9)	0.1	12.4
うち搾油用	1.4	1.3	1.5 (…)	0.1	13.2
輸出量	1.8	1.9	2.0 (1.9)	0.1	4.0
輸入量	0.3	0.3	0.4 (0.3)	-	4.5
期末在庫量	0.2	0.2	0.3 (0.3)	0.1	57.1
期末在庫率	4.2%	4.8%	7.1% (8.0%)	3.1	2.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.17	1.21	1.40 (1.39)	0.10	15.7
単収(t/ha)	2.31	2.73	2.61 (2.56)	▲0.01	▲4.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
AAFC「Pulse and Special Crops Outlook (July 10, 2009)」

エ 中国

【需給状況】

中国の生産量は、単収が増加するものの、収穫面積がとうもろこしにシフトして減少することから、前年度より0.4百万トン減少（▲2.5%）し、15.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加等から前年度より2.2百万トン増加（4.1%）し、53.5百万トンとなる見込みである。

輸入量は国家備蓄政策による影響で、国内大豆に比べ輸入大豆の割安感から輸入が前年度は増加したが、在庫が積み増しされたこと等から、1.0百万トン減少（▲2.6%）し、38.1百万トンとなる見込みである。

一方、輸出量は、前年度並みの0.5百万トンとなる見込みである。なお、貿易量は世界の約5割を占めている。

この結果、期末在庫量は前年度より0.2百万トン減少（▲3.3%）し、7.3百万トンとなり、期末在庫率も13.5%（1.0ポイント減）となる見込みである。

なお、前月の予測からの変更は、2008/09年度の輸入量が0.3百万トン上方修正された。この結果、2009/10年度の期首在庫量が上方修正され、輸出量が0.1百万トン、期末在庫量が0.2百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

中国東北地域では6月初旬に大豆の作付けがほぼ終了した。主産地の黒龍江省では、5月は極端に降水量が少なかったが、6月に長雨の影響を受け、低温と日照不足により、一部の地域では生育が遅れており、単収への影響が懸念される。今後の天候に注視する必要。

【貿易情報等】

2007年12月に増値税の輸出還付を取消し、2008年1月から輸出税を課していたが、残りの黄大豆と種子用大豆の輸出税についても2009年7月1日に撤廃された。

なお、中国政府は2009年の作付けを推進させるため、725万トンの備蓄をしていたが、7月下旬から放出を予定している。

我が国の輸入先国シェア4位（2008年数量ベース 2.3%）
世界の生産量シェア 4位（2009/10年度 6.4%）
輸入量シェア 1位（2009/10年度 50.2%）

表－5 中国の大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	14.0	16.0	15.6 (15.7)	-	▲ 2.5
消費量	49.8	51.3	53.5 (…)	-	4.1
うち搾油用	39.5	41.0	43.3 (…)	-	5.4
輸 出 量	0.5	0.5	0.5 (…)	0.1	0.0
輸 入 量	37.8	39.1	38.1 (…)	-	▲ 2.6
期末在庫量	4.3	7.5	7.3 (…)	0.2	▲ 3.3
期末在庫率	8.5%	14.5%	13.5% (…)	0.4	▲ 1.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	8.75	9.50	9.10 (9.12)	-	▲ 4.2
単収(t/ha)	1.60	1.68	1.71 (1.72)	-	1.8

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」
「World Agricultural Production」
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 17, 2009)」

オ アルゼンチン

【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、前年度は干ばつの影響で生産量が大幅な減少となったが、前年度より19.0百万トン増加（59.4%）し、51.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要を中心に増加することから、前年度より2.5百万トン増加（7.5%）し、36.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の回復に伴い、3.4百万トン増加（57.5%）し、9.4百万トンとなる見込み。

この結果、期末在庫量は前年度より5.4百万トン増加（35.2%）し、20.6百万トンとなり、期末在庫率は44.7%（6.7ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの変更は、2008/09年度の消費量が0.8百万トン、輸出量が0.6百万トン、輸入量が0.6百万トンそれぞれ上方修正された。この結果、2009/10年度の期首在庫量が0.8百万トン下方修正され、輸入量が0.5百万トン上方修正され、期末在庫量が0.3百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のアルゼンチンの大豆の収穫は6月初旬までに概ね終了した。

【貿易情報】

大豆輸出税を中心とした政府の農業政策に対し、農家は2008年10月及び2009年2月にストライキを実施。さらに3月にも大豆相場の下落と干ばつの被害を受けて、大豆の輸出税の現行35%からの引き下げを求め、穀物の売却を拒否するストライキを行った。

（世界の生産量シェア 3位（2009/10年度 20.9%）
輸出量シェア 3位（2009/10年度 12.4%））

表-6 アルゼンチンの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

（単位：百万トン）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	46.2	32.0	51.0 (52.0)	-	59.4
消費量	36.2	34.2	36.7 (…)	-	7.5
うち搾油用	34.6	32.8	35.1 (…)	-	7.0
輸 出 量	13.8	6.0	9.4 (…)	-	57.5
輸 入 量	3.0	1.6	0.5 (…)	0.5	▲ 68.8
期末在庫量	21.8	15.2	20.6 (25.3)	▲ 0.3	35.2
期末在庫率	43.5%	38.0%	44.7% (…)	▲ 0.6	6.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.60	16.00	18.00 (18.80)	-	12.5
単収(t/ha)	2.78	2.00	2.83 (2.77)	-	41.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「Oilseeds: World Markets and Trade」

「World Agricultural Production」

OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (July 17, 2009)」